

2014.8月

# 品質月報

*Monthly Quality Report*

# 8月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…  
「地球温暖化」

PAGE 5 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 8 ……活動報告

「コミュニケーション」



# SANSHIN GROUP



## 品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

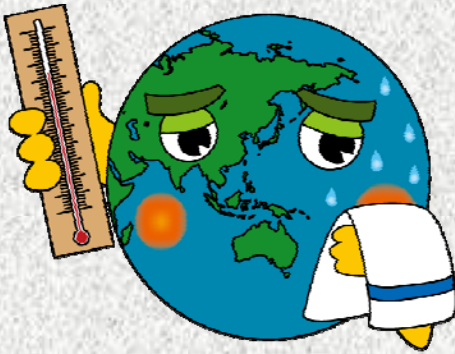
平成18年7月1日  
サンシングループ  
代表 石井宏宗



石井宏宗

# 今月のトピックス

## 「地球温暖化」



太陽系の中で地球が誕生したのは、約46億年前と考えられています。誕生したばかりの原始地球は、小さな惑星との衝突を繰り返しながら成長していきました。やがて地球表面が冷え始めると、雲を形成していた水蒸気が雨となって大量に降り注ぎ洪水となり低地にたまって海となりました。こうして、41億年ほど前に陸と海が形成され薄くなった雲間から太陽光が注ぎ、生命誕生の環境が整っていったと考えられています。6億年前には、大気中の酸素濃度の上昇により、オゾン層が形成されるようになり生物に有害な紫外線を吸収し、それまで紫外線が届かない海中でしか生存できなかった生物の陸上進出が始まりました。そして、4億年前には動物の陸上進出が始まりました。

やがて約6500万年前には、それまで繁栄を続けた恐竜が絶滅し、現在に続く哺乳類の時代になりました。

大隕石の衝突による環境変化が原因とされています。化石調査等から5回確認されている生物の大絶滅は、このような環境の急激な変化によるものと考えられています。そして、450万年前に最初の人類が誕生しています。人間の祖先にあたる猿人です。

最近の環境変化は、250年前におこった産業革命で、化石燃料の大量消費など、拡大した人間活動に起因する地球環境問題は、ここから始まっています。

環境変化の一つに地球温暖化が挙げられますが、これはフロンガスなどによるオゾン層破壊が原因の一つであり、1906年から2005年の100年間に上昇した気温は、0.74℃です。これは、人類誕生までにおこった自然現象ではなく、人為的に起こった環境問題であり、これを100年規模で考えると大変なことです。地球の歴史から考えれば、はたして異常現象というべきかどうかは、人それぞれで見解が違ふと思います。

### <設計～量産導入2>

製造の基本である「品質、コスト、納期」は、前月でも述べました。

量産導入するまでには、いろいろな諸問題が発生します。

その問題を解決するにあたり、目先だけの対応を取るか先々を見据えて対応をとるかは場面場面で違います。しかし、そのほとんどの場合、目先の検討だけだと後悔することが多々あります。ここで重要なのは、先見性をもち、かつ軸が振れない対応をとることが大切になるかと思えます。とても難しいことです。

ただ、後悔しても悲観的になることは、無いと思えます。

その後悔を反省して次に活かして行けばよいのです。失敗を糧にすればよいのです。

以前にも述べたことがあります。 「Do it the first time」も大切ですが、

「Do it the next time」をきちんと実行すれば、信用を失墜することはないからです。

### <当り前のことを当り前にやる>

このことが一番大切であり、最も難しいことである。

これを継続していくには、「個人の意志」が最も大事である。

# 今月の品質状況

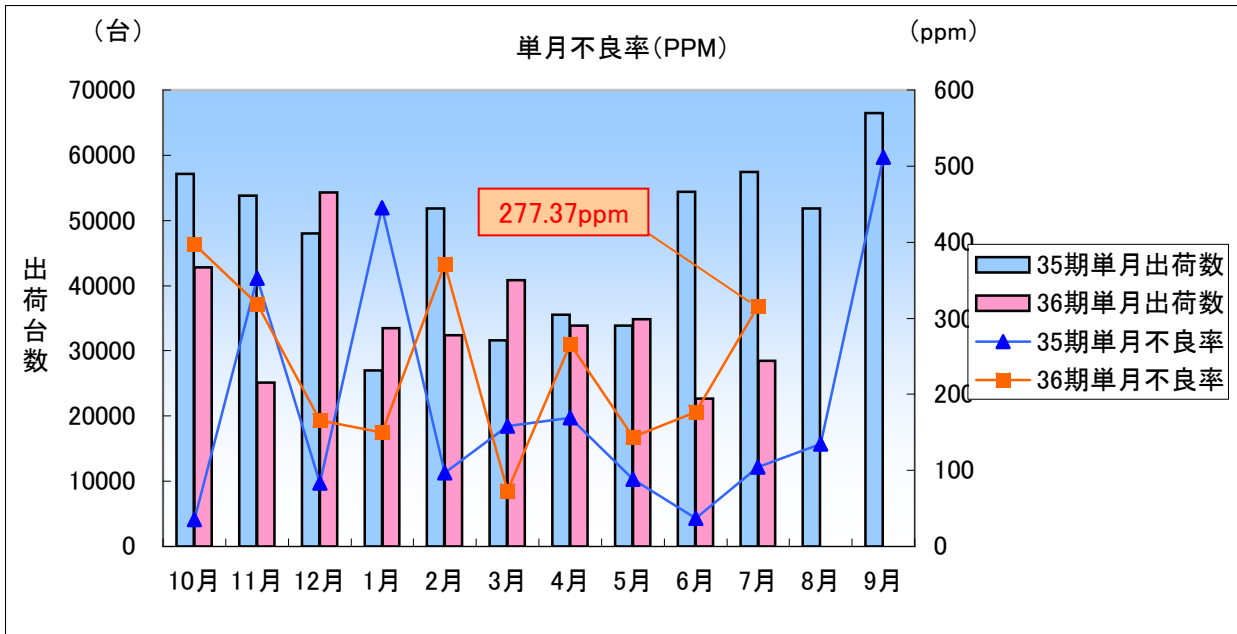
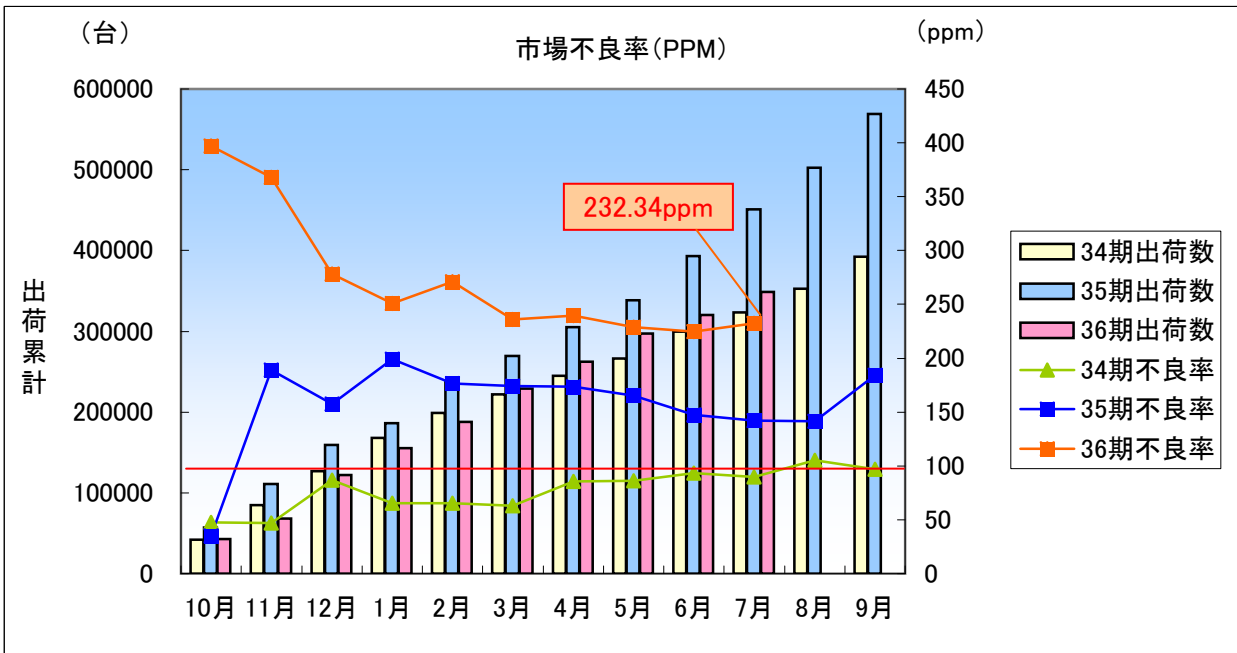
## 36期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

36期の7月終了時点の不良率は**232.34ppm**です。

市場不良累計は 81件 (その他 MOSFET 181件)

目標100ppm達成が厳しい状況ですが、次につながる対策を打って行きたいと思えます。

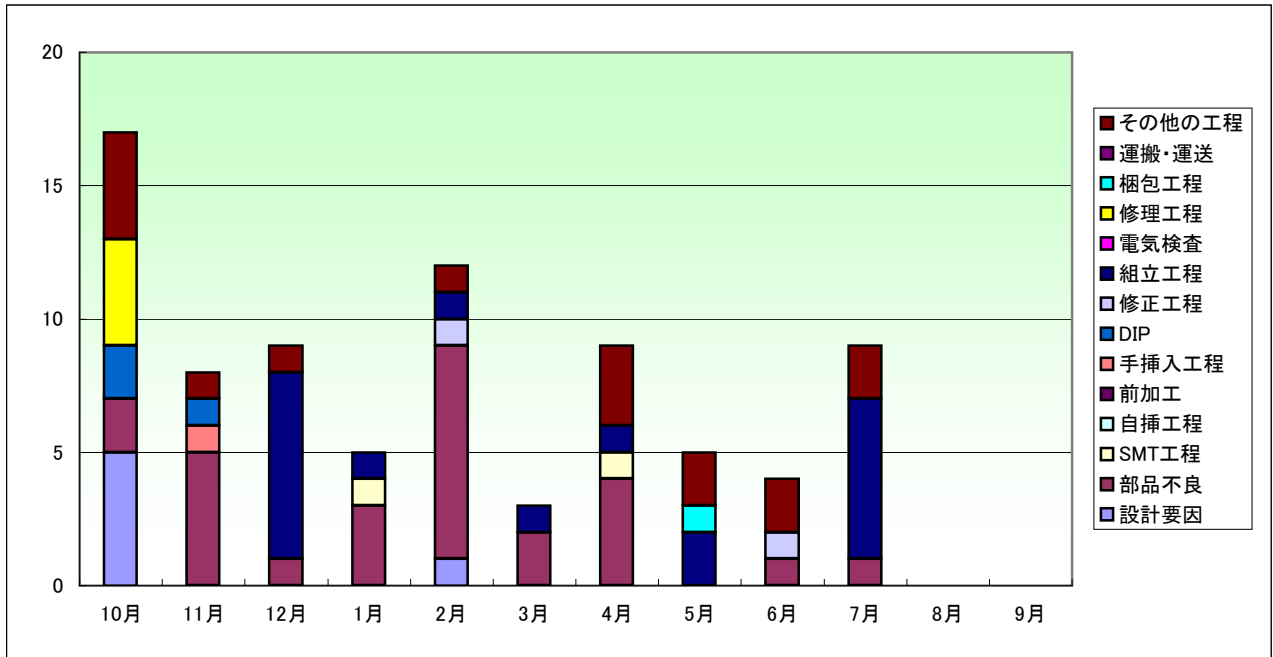


7月の単月不良発生率は9件発生で 277.37ppm です。  
 製造不良 6件(イレギュラー対応)、その他 3件  
 部品不良はMOSFET不良8件を除いています。

# 品質状況詳細

## 原因別、並びに工程別市場不良発生状況

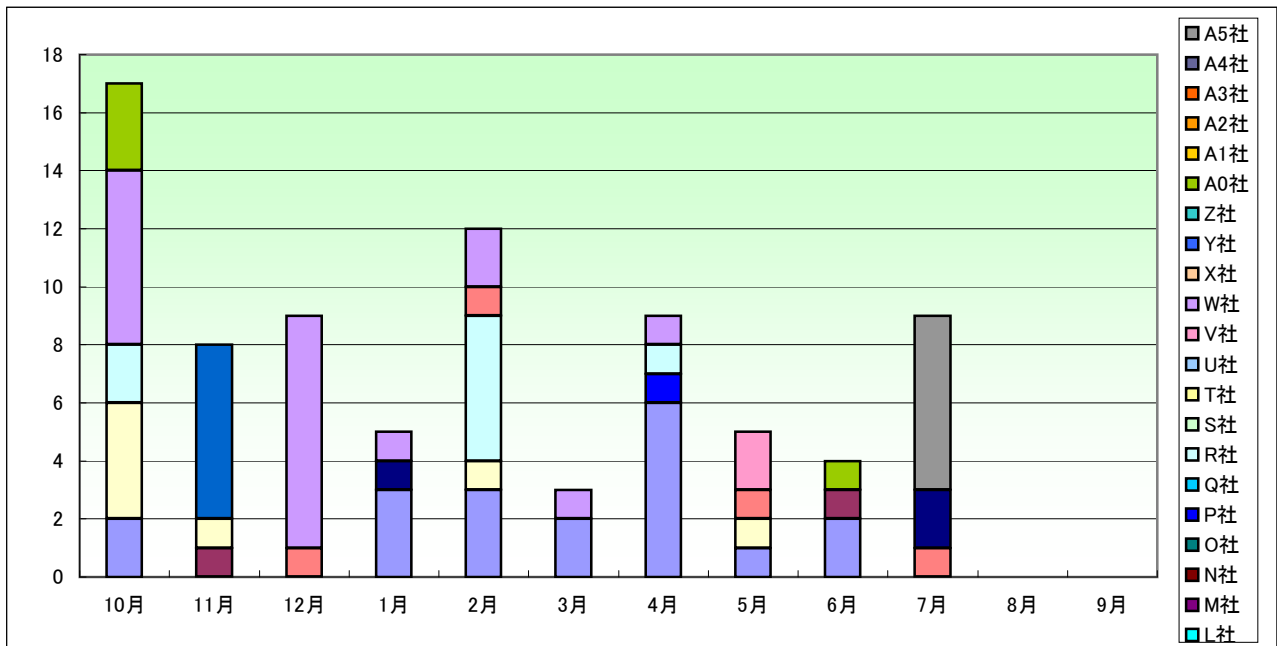
### 工程別不具合



#### 7月までの工程別不具合

部品不良 27件、組立工程 19件、不明 16件、設計要因 6件、修理工程 4件  
 イレギュラー対応による組立て不良が多発(クレーム不良)しました。

### 客先別不具合



#### 客先別累計不良発生率

A5社	6件/1,416台 (4237ppm)	W社	19件/5,854台 (3246ppm) 変化なし
A0社	4件/1,999台 (2001ppm)	I社	3件/2,700台 (1111ppm)
V社	2件/2,000台 (1000ppm)	A社	19件/31,348台 (606ppm) 変化なし

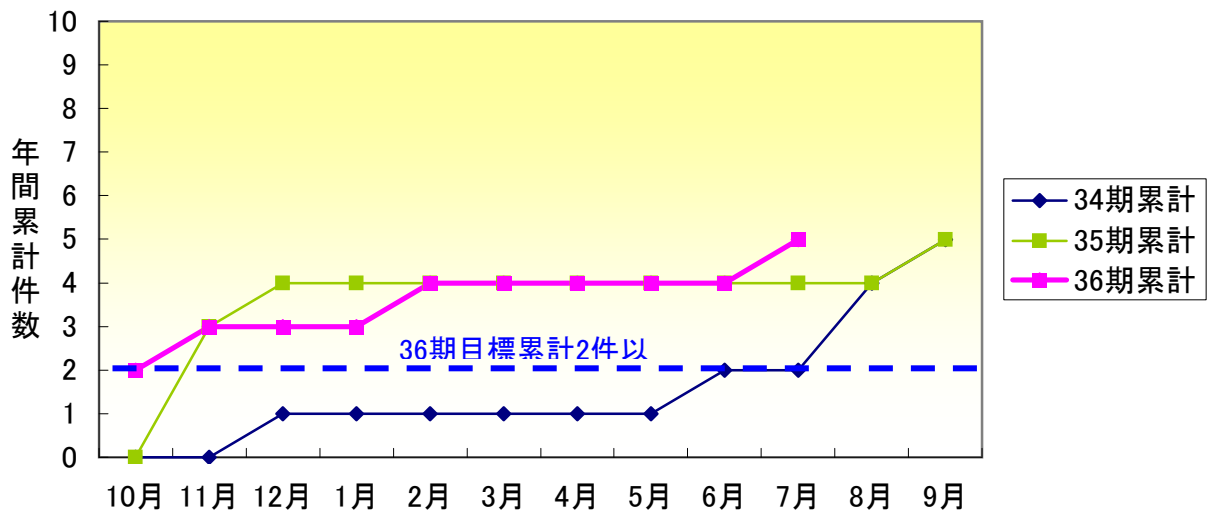
# 品質状況詳細

## クレーム発生状況

### クレーム発生推移

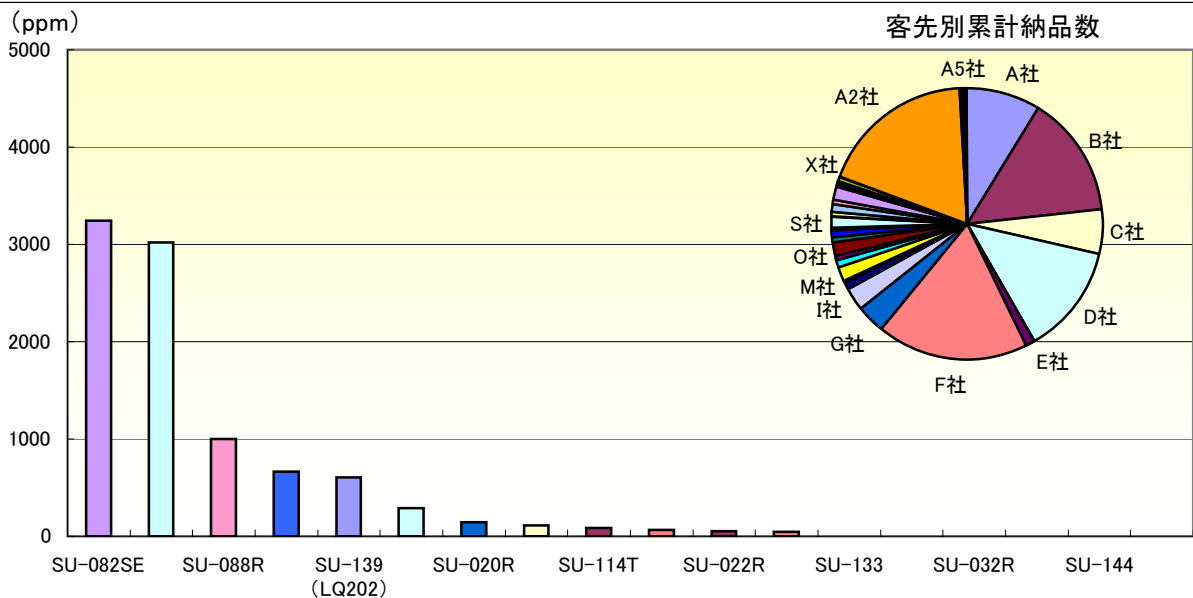
「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に  
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移(36期)



クレーム不良合計5件。  
7月クレーム不良1件発生、納品分の全数見直しを実施しました。

### 機種別累計不良率



#### 機種別累計不良率(不良率ワースト5)

順位	機種	客先	不良数/納品数	単機種不良率
①	→ SU-082SE	(W社)	19件/5,854台	3246ppm
②	↓ SU-015MAIN	(R社)	1件/331台	3021ppm
③	→ SU-088R	(V社)	2件/2,000台	1000ppm
④	→ SU-086R	(Y社)	1件/1,500台	667ppm
⑤	→ SU-139	(A社)	19件/31,348台	606ppm

## 「コミュニケーション」

我々は、ステークホルダーとの信頼関係をより強固なものへ構築していかなければなりません。その為には、「コミュニケーション能力」が仕事をするうえで大切になります。

### 意思疎通

- ・協力関係を作り上げる源泉
- ・双方向の意思疎通

### 情報伝達

- ・現場から正確な情報を入手する
- ・必要な人に正確な情報を伝える

コミュニケーションとは、人から人に対してある事実なり意思なりを伝達することです。職場は人間の集合体であり、人から人に事実なり意思を伝え合うことによって成り立っていると云えます。すなわち職場におけるコミュニケーションは、組織活動を効果的に行うためのキーポイントです。コミュニケーションが効果的に出来ない場合は、ミスやロスも大きく、メンバー個々の努力が組織の成果に結び付きにくいものです。

コミュニケーションのあり方がまずかったり、パイプがつまったりすると、いわゆる風通しの悪い職場が生まれ、その中の人間関係もしっくりいかないばかりか、いたづらに誤解や不安をつのらせることにもなりかねません。

### ■コーチング

コミュニケーションスキルの1つにCoachingがあります。

Coachingとは、

- ①相手への質問する技術(良い質問は、良い答えを引き出す)
- ②相手の話しを傾聴する(Active Listening)

Teach ≠ Coach(馬車)

主役は、相手(乗る人) → 相手が会話の中心

そこで、一番大切なことは、相手の意見を「聞く」でなく「聴く」ことです。更に「訊く」が出来れば、とても素晴らしいです。

良い質問者は、電話やメールだけでなく「Face to Face」を心掛けています。

相手の表情などを視覚情報として、判断材料にしている。

電話などの言葉だけやメールだけなどでは、判断を誤りかねない。

### ■どの組織でもコミュニケーションの「質を高める」ことの重要性を再認識していくべきでしょう。

コミュニケーションの質が低い組織は

- ①本当のことが言えない風土
- ②会議の場で何も言えない風土(会議が終わった後に本音を言ってます。)

社員一人一人が、組織で仕事をしていることを自覚し、些細なことでも自ら情報発信しまた、受け手も積極的に傾聴していけるそんな風土の職場にしていきたいものです。そんな職場は、きっと個々が充実した会社生活をしていけるでしょう。

